

やってみよう！

保育のねらい： 感触遊びを通し、指先の発達や創造力を養う。

作成日：2025年9月24日

対象児：1歳児 ばら組

作成者：高橋加奈

パスタ・マカロニ



片栗粉



寒天



自分で持って食べるよ！



振り返り

この夏、様々な感触遊びに触れてきたばら組の子ども達。興味津々で積極的に素材に触れる子、おそろおそろ触れてみようとする子、興味が湧きにくい子。様子はそれぞれでしたが、積極的に触れる子には「これ見て！ドロドロだよ～」と保育者も一緒に楽しんだり、様子を見ながら取り組もうとしている子には「一緒に触ってみようか？」「スプーンですくってみる？」と遊び方を提案したりしました。（**思考力の芽生え、豊かな感性と表現**）

指先を使い実際に触れて遊ぶという活動は、スプーンなどの食具の持ち方、ズボンやオムツの着脱という指先を使う生活面の取り組みにもつながっています。入園から半年経った子ども達ですが、今は少しずつ身の回りのことに自分で挑戦しています。自分でやってみようとする意欲にもつなげられるよう、ただ言葉で伝えるだけでなく遊びを通して経験を深め、場面に応じた援助ができればと思います。（**自立心、健康な心と体**）